Tシャツくん Wide

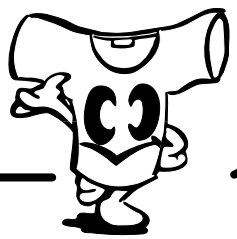
ワイド印刷機ＬＬ

取扱い説明書

目次

あらかじめご承知いただきたいこと 1
安全についてのご注意 2
●ご注意 3
●ワイド印刷機ＬＬのセット内容 5
●各部の名称とはたらき・仕様 5
●きれいに印刷するために 6
●印刷の手順 6
① Tシャツの準備 7
② スクリーン版をとりつける 7
③ プリント位置を決める 8
④ プリントする 9
⑤ できあがり 9
●多色印刷 10
●ポイントコーナー 11
●各インクの使い方 12
●オプション品の使い方 14
●Tシャツくんインフォメーションサービス 15

●ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み下さい。
●取扱い説明書と保証書は必ず保管して下さい。



あらかじめご承知いただきたいこと

この取扱い説明書は、「Tシャツくんワイド印刷機ＬＬ」(以下はワイド印刷機ＬＬと略します)をお使い頂くためのガイドブックです。太陽精機(株)ホリゾン事業部の「ワイド印刷機ＬＬ」を初めてお使い頂く方はもちろん、すでに使用経験をお持ちの方も知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。この取扱い説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上でお使い下さいますようにお願いします。また、この説明書を手元に置かれて作業されることをお勧めします。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、「取扱い説明書」の記載内容の異なる場合もあり得ますので、製品ごとの「取扱い説明書」を混同して使用しないで下さい。

製品またはこの取扱い説明書の内容についてのご質問は、下記までお問い合わせ下さい。

製造・発売元/**太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL 0422 (48) 5119(代)　FAX 0422 (48) 5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL 075 (921) 9225　FAX 075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

安全についてのご注意

ワイド印刷機LLを安全にご使用いただくには、この取扱い説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで印刷作業を行わないで下さい。

取扱い説明書に示した操作法および安全に関する注意事項は、ワイド印刷機LLを指定の方法で使用する場合に有効なものです。この取扱い説明書外の使用、取扱いを行う場合の安全に対する配慮は、すべてご自分の責任とお考え下さい。

この取扱い説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり財産が損害を受ける恐れがある内容を示しています。

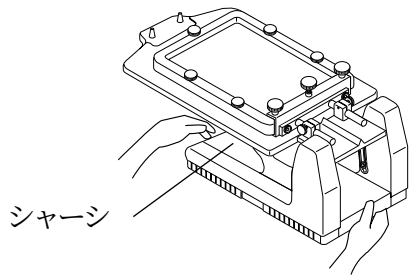
絵表示の例

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したりする内容を告げるものです。

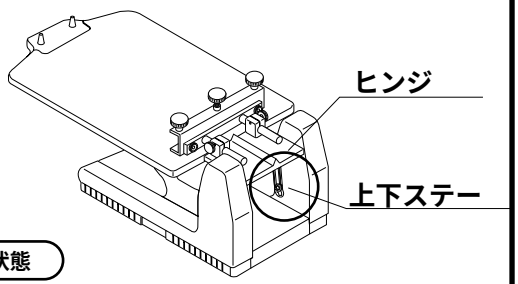
●ご注意

正しく安全にお使い頂くために、次の事項を特にご注意下さい。

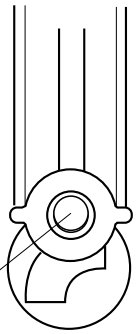
⚠注意	
❗	**・風通しの良い場所でお使い下さい。 インクには、溶剤が使ってあります。**
🚫	**・インクは口に入れないで下さい。**
❗	**・スプレーのりを使うときは、換気を十分に行って下さい。**
🚫	**・ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないで下さい。 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。**
🚫	**・お手入れのとき、有機溶剤(シンナー・ベンジン等)は使わないで下さい。 変形や変色ヒビ割れの原因になります。**
🚫	**・本機を運ぶときは、シャーシの中央部を持って下さい。**  シャーシ

⚠注意

•ヒンジの上下が重いときは無理に動かさないで、上下ステーのロータの状態をみて開閉して下さい。



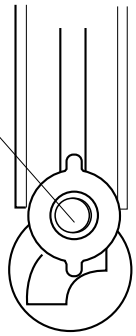
ヒンジ（フレーム）が上で止っている状態



この状態では、下げることはできません。
下げるときは、ヒンジを少し持ち上げるとロータが回転し下ろせます。

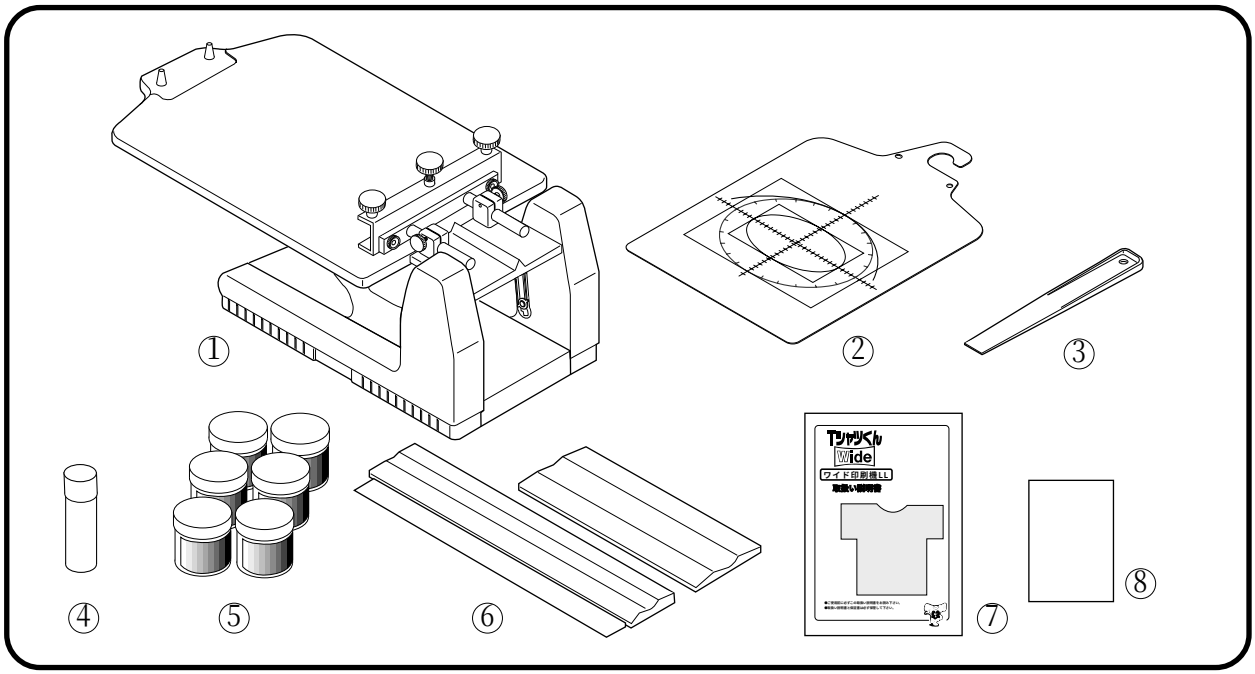
ロータ

ヒンジ（フレーム）が下がる状態



この状態で、下げられます。
上げたままにするときは、ロータが回転するまでヒンジを持ち上げて下さい。

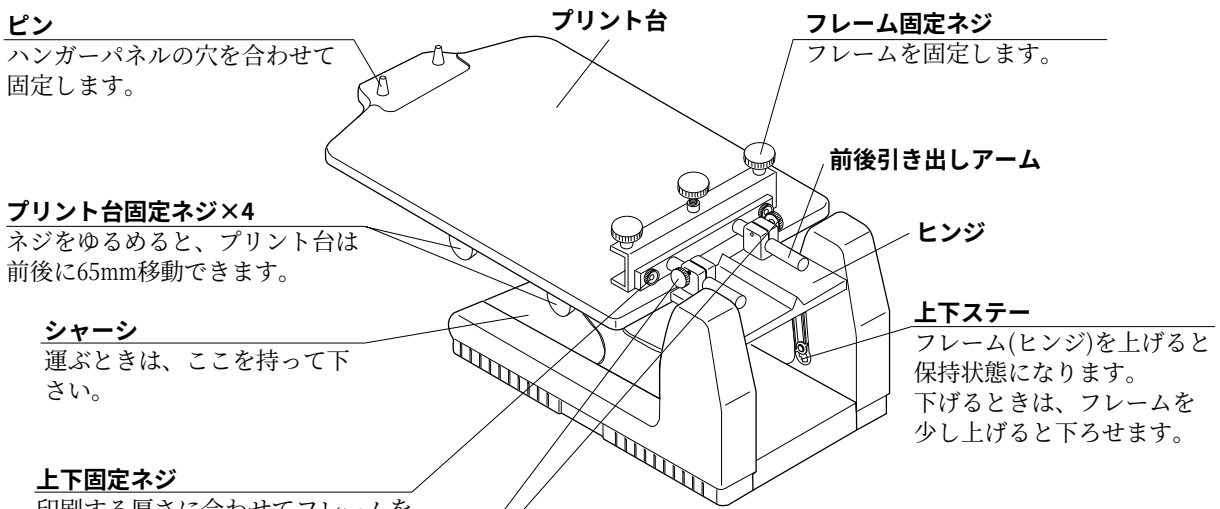
●ワイド印刷機ＬＬのセット内容



セット内容

① ワイド印刷機LL 1台
② ハンガーパネルLL 5枚
③ ヘラ(大) 1本
④ 専用スプレーのり 1本
⑤ 水性一般インク(100g)
（黒・白・黄・赤・青・緑） 各1
⑥ スキージ大(23cm) 1枚
業務用スキージ(36cm) 1枚
⑦ 取扱い説明書 1冊
⑧ 保証書 1枚

●各部の名称とはたらき・仕様



ピン
ハンガーパネルの穴を合わせて固定します。

プリント台

フレーム固定ネジ
フレームを固定します。

前後引き出しアーム

プリント台固定ネジ×4
ネジをゆるめると、プリント台は前後に65mm移動できます。

ヒンジ

シャーシ
運ぶときは、ここを持って下さい。

上下ステー
フレーム(ヒンジ)を上げると保持状態になります。
下げるときは、フレームを少し上げると下ろせます。

上下固定ネジ
印刷する厚さに合わせてフレームを上下に移動できます。

前後固定ネジ
フレームの前後調整をします。

■仕様

名　　称	ワイド印刷機LL
プリント可能厚	約8mm
プ リ ン ト 巾	約40ｃｍ×48ｃｍ
本 体 寸 法	約40(W)×70(D)×30(H)ｃｍ
質　　量	16Kg

●きれいに印刷するために

⚠注意

・インクは口に入れないで下さい。

●スクリーン版のピンホールは、きれいに修正しましょう。

スクリーン版が原稿どおりできていないと、きれいに刷れません。
スクリーン版を光にあてて、ピンホールがないかしっかり確認して下さい。
ピンホールの修正はスクリーン版の裏から専用のピンホール修正液を塗って下さい。

●刷る前に位置を確認しましょう。

プリントする位置の左右はスクリーン版のフレームをセットするときに決めて下さい。
前後（Tシャツの上下）は、プリント台固定ネジと、前後固定ネジの2ケ所で決めて下さい。

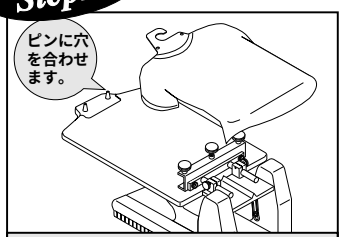
●インクは図柄の幅より広くのせて下さい。

スクリーン版にインクをのせるときは、図柄よりも広くのせて下さい。
スキージは70 程傾けて下に押さえながら手前に引いて下さい。

ポイント
・洗濯しても色落ちしないように、刷り終ってインクが乾いたら必ず中温でドライアイロンを2～3分かけて下さい。ドライアイロンの時間が短かったり温度が低いと、洗濯したときに色落ちします。

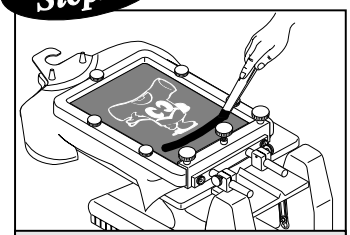
●印刷の手順

Step1



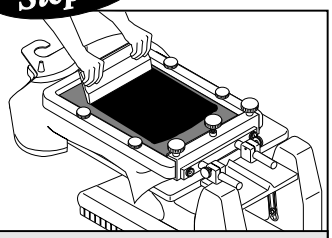
ハンガーパネルLLにTシャツをセットしプリント台に置きます。

Step2



フレームを本体にセットし、版にインクをのせます。

Step3



スキージでインクを下に押しつけるようにゆっくり移動し印刷します。

Step4

つり下げて乾かします。

ポイント
・インクでTシャツが汚れないようにハンガーパネルの間隔は十分あけて下さい。

① Tシャツの準備

⚠注意

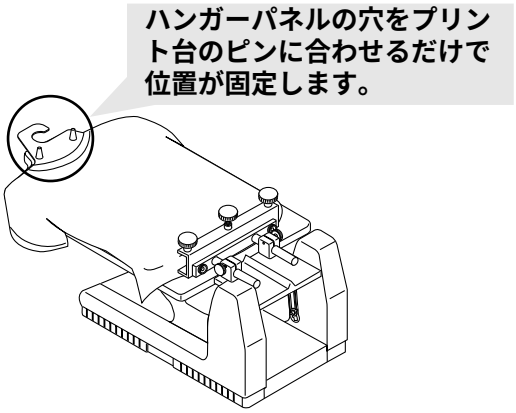
・スプレーのりを使用するときは換気を十分に行って下さい。

1. スプレーのりを吹き付けたハンガーパネルLLに、Tシャツのプリントする部分を、シワにならないようにていねいに貼ります。

ポイント

・Tシャツにシワがあると印刷に失敗します。

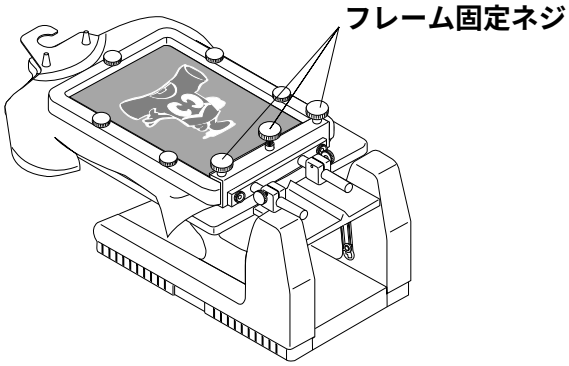
2. プリント台のピンにハンガーパネルLLの穴を合わせてさし込みます。



- プリントする枚数に応じて、ハンガーパネルLLにTシャツを固定させて用意しておきます。(ハンガーパネルLLは別売りで5枚入りと25枚入りがあります。)

② スクリーン版をとりつける

1. 3箇所のフレーム固定ネジをゆるめ、プリントする図柄の天地を確認してスクリーン版のフレームを差し込みます。

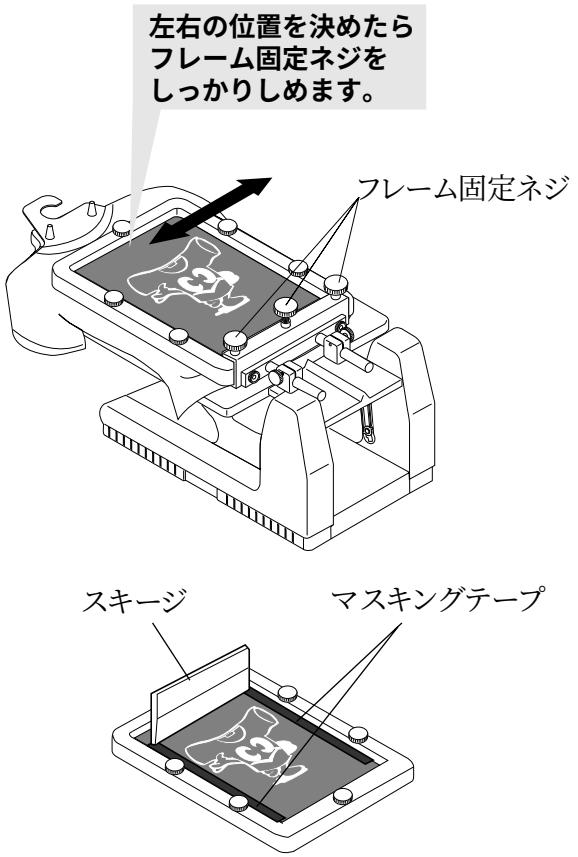


2. 刷る位置の左右を合わせ、フレーム固定ネジをしっかり締めます。

・固定ネジの締め方がゆるいと、印刷のときにずれることがあります。

フレームのネジとフレーム固定ネジが当たるときは、そのネジを避けてフレームを固定して下さい。

・多枚数印刷するときは、スキージのエッジでスクリーン版をいためます。あらかじめマスキングテープを図柄の外側に貼って補強して下さい。（マスキングテープは、別売りです。）



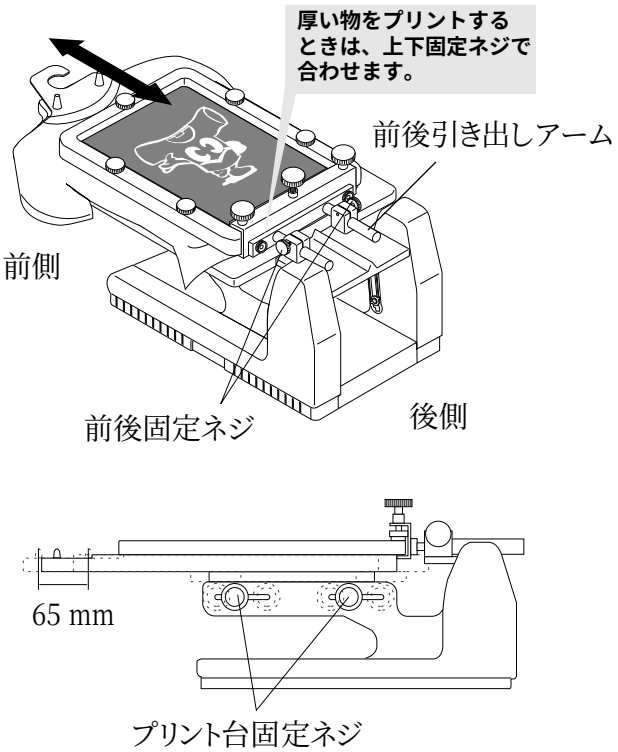
③ プリント位置を決める

1. プリントする位置は、ヒンジの上にある前後固定ネジをゆるめてスクリーン版を前後に動かします。

・フレームを引き出しすぎるとアームが外れます。

2. 位置が決まったら前後固定ネジを締めます。スクリーン版を下ろして位置を確認します。

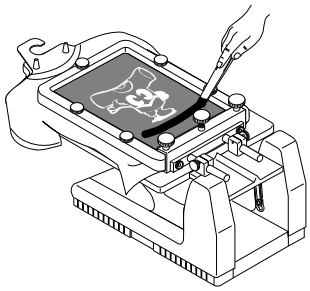
・ さらに前後移動するときは、プリント台の下にあるプリント台固定ネジ(4ケ所)をゆるめると、プリント台が移動できます。



④ プリントする

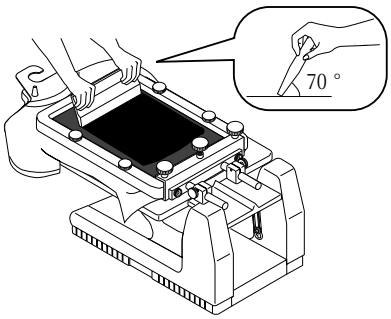
⚠注意

・インクは口に入れないで下さい。



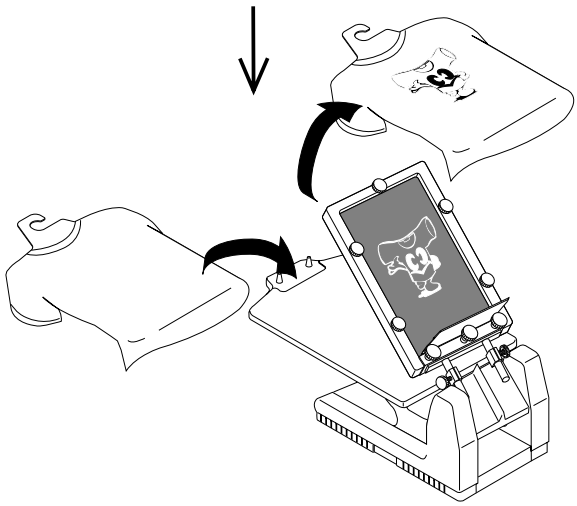
1. スクリーン版を下ろし、ヘラでインクを適量のせます。インクは、図柄の幅より少し広い目にします。

2. スキージを70 程度手前に傾けて、下に押しつけるようにゆっくり手前に引きます。
フレームを持ち上げ、ハンガーパネルを外します。
Tシャツをセットした新しいハンガーパネルをはめこめば、2枚目、3枚目と連続印刷ができます。



ポイント
・インクが乾かないうちに手早くパネルを交換し、印刷作業を行いましょう。

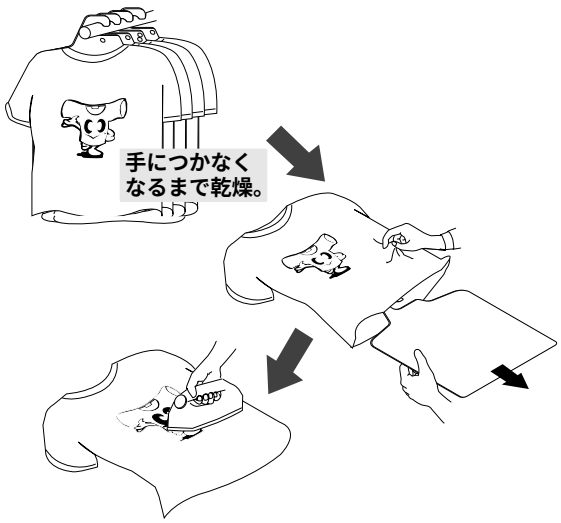
- プリントした後は、版の目詰まりを防ぐために、インクが乾燥しないうちにスクリーン版を清掃します。裏側より水性インクのときは、水を含んだティシューで裏面のみ、その他のインクのときは、専用うすめ液で両面をふき取って下さい。
- スキージは、フレーム固定ノブの所に立てかけておきます。



ポイント
・スクリーン版をぬれたティシュでふき取ったあとは良く乾かしてから、次の印刷をして下さい。Tシャツを汚す恐れがあります。

⑤ できあがり

1. 30～40分後印刷面に触れてみて、もしくは印刷後ドライヤー等で乾燥させて、インクがつかなくなればTシャツをハンガーパネルより外し、ドライアイロンを中温で2～3分かけて下さい。



ポイント
・ドライアイロンの時間が短かかったり、温度が低いときは、洗濯すると色落ちする恐れがあります。

●多色印刷

ポイント

・明るい色から順に刷ります。明るい色の原稿をつくるときは少し大きめにして、後で刷る濃い色と重なるようにします。

・ 1色目の明るい色が刷り終ったら、2色目のスクリーンの版をセットをします。

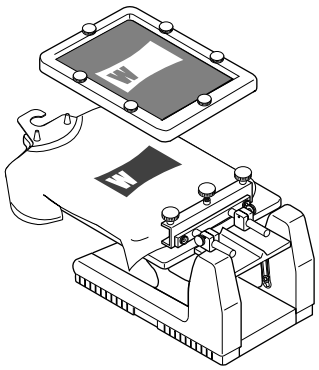
ポイント

・Tシャツは全色刷り終るまでハンガーパネルからはがさないで下さい。
・全色刷り終わってから、アイロンをかけます。

・ 指触乾燥した1色目のハンガーパネルをプリント台に差し込み2色目のスクリーン版を下ろして版の位置合わせをしてから、フレームをしっかり固定して下さい。
・ 3色目、4色目も同じ要領で繰り返します。

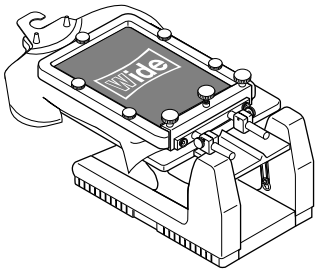
Step1

グレーで刷る原稿

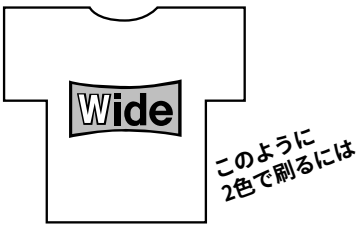


Step2

黒で刷る原稿

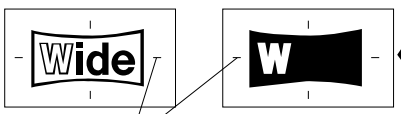


トンボマークで位置合わせをしましょう



1.原稿を2つ作ります。

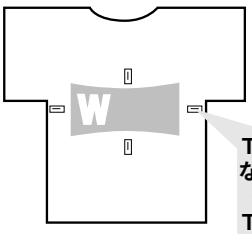
黒で刷る原稿　グレーで刷る原稿



グレーのベタ版は黒の外側の線より小さいめに(外側にはみ出さないように)つくります。

同じ場所にトンボマーク（線）をつけます。

2. うすい色（グレー）から刷ります



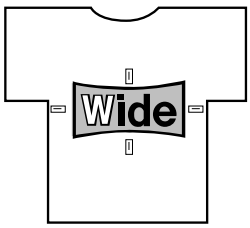
●グレーをプリントします。ハンガーパネルごと自然に乾かします。

Tシャツにトンボがプリントされないようにします。
（最初の1枚だけです。）
Tシャツのトンボ位置にマスキングテープをTシャツに貼っておきます。

インクが乾いてから

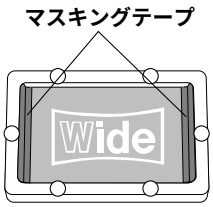
3. 濃い色（黒）を刷ります

●グレーでプリントしたトンボに合わせて黒の版をセットします。
2枚目からは、ピンの穴を合わせるだけでプリントできます。



●ポイントコーナー

●多枚数の印刷(単色のとき)

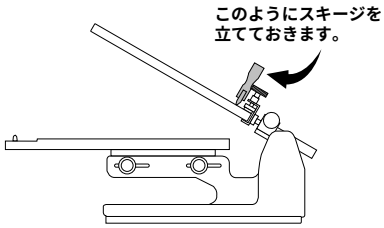


数多く刷るときは、前もってハンガーパネルにTシャツを固定しておきましょう。1人が印刷をして、もう1人が刷り終ってインクが乾いたTシャツをハンガーパネルからはずし、次のTシャツを固定すると早く何枚も刷れます。
多枚数刷るとスキージのエッジでスクリーンをいためるときがあります。あらかじめマスキングテープを図柄の外側に貼って補強します。
水性インクを使用するときは特にスクリーンの目づまりに注意が必要です。連続して印刷しないときは、目づまりが起こりますので、目詰まり防止方法に基づいて作業を行ってください。

●多色印刷

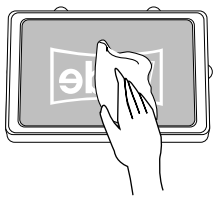
多色印刷のときは、パネルの枚数分明るい色から1色目を全部刷ります。2色目は、版にインクがついていないのでマスキングテープのトンボ位置もしっかり確認できます。最初にスクリーン版の位置を決めれば、パネルの穴をピンに合わせるだけで2枚目からは同じ位置に刷れます。(多色印刷で多枚数刷るときはハンガーパネルを枚数分用意します。)
　水性インクのとき、加湿器を使用するとスクリーン版の乾燥を防げますので、多枚数刷るときスムーズです。

●スキージの使い方



スキージは図柄に合わせて使い分けて下さい。
70 程度手前に傾けて下に押しつけるように、手前にゆっくり引きます。専用スキージは市販のスキージより刷りやすく、インクもきれいに拭き取れる材質でできています。

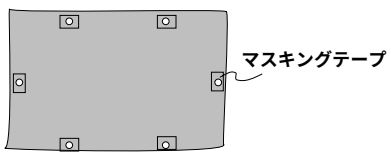
●目詰まり防止方法 (きれいにプリントするには)



水性インクの場合
インクが乾かないうちにスクリーンの裏側からぬれたティッシュで拭き取ってください。スクリーンが目詰まりすると、図柄がかすれてきれいにプリントできません。拭き取ったスクリーン版は乾かしてからプリントしてください。
水性インクが乾燥したときは専用目詰まり除去液を使用してください。専用目詰まり除去液は部分的な目詰まりにのみ有効です。全体的に目詰まりが発生したときには、再度スクリーン版を作成されることをお勧めします。(専用目詰まり除去液を多数回使用すると、スクリーン版が傷みます。)(専用目詰まり除去液は別売です。水性ポリウレタンインクには使用できません。)

油性インクの場合
油性インク専用うすめ液で拭き取ってください。拭き取った後はスクリーン版を乾かしてからプリントしてください。(専用目詰まり除去液は使用できません。)

●スクリーンの後始末と再使用



使ったスクリーンは、フレームからはずして保管することもできます。再使用するときは、スクリーンの穴を専用マスキングテープ(別売り)で補強して下さい。

●各インクの使い方

※製品ごとの取扱説明書、注意事項をよく読んでからお使い下さい。
※インクは必ず混ぜてからお使い下さい。

●一般インク、蛍光インク（水性）

用途：Tシャツ、ハンカチ等の綿製品及び紙、白木等（水をはじく物にはできません。）
対応スクリーン：60M・80M・120M
布地プリントには最適のインクです。濃色地への印刷時は、白色で印刷して乾燥させた後、お好みの色で印刷するとより鮮やかな発色になります。
※インクが硬いときは、水性バインダーを混ぜて下さい。
※金・銀インクは、60M又は80Mのスクリーンを使って下さい。

●発泡インク（水性）

用途：Tシャツ、ハンカチ等綿製品。
対応スクリーン：60M・80M・120M（より発泡させたいときは、粗いメッシュ80Mをお使い下さい。）
手につかなくなるまで自然放置（30～60分）またはドライヤでよく乾燥させたのち、印刷した部分の裏からスチームアイロンをかけます。インクがぷくぷくと盛り上がり、遊び心いっぱいのプリントが楽しめます。
※よく混ぜてからお使い下さい。
※インクが硬いときは、水性バインダーを混ぜて下さい。

●ポリウレタンインク（水性）

用途：紙・綿・ポリエステル・ナイロン
対応スクリーン：60M・80M・120M
ポリウレタン樹脂インクは伸縮性に富み、ナイロン100%・ポリウレタン100%素材にもプリントできます。（はっ水加工素材にはプリント不可です。）
一般水性インクより柔らかな色目で、パステル調のプリントが楽しめます。
※水性目つまり除去液は使えません。
※インクが硬いときはポリウレタンインク専用バインダーを混ぜて下さい。

●蓄光インク（水性）

用途：Tシャツ、ハンカチ等の綿製品（綿50%以上）（水をはじく物にはできません。）
対応スクリーン：60M・80M・120M
太陽光や電灯の光を吸収・蓄積し、暗いところで光るインクです。（濃い色布地には不可です。）
※よく混ぜてからお使い下さい。
※インクが硬いときは、少量の水を混ぜて下さい。

●ナイロンウエア用インク（油性）

用途：ナイロンサテン・ナイロンタフタ
対応スクリーン：60M・80M・120M・230M
※必ず硬化剤を混ぜて下さい。
※インクが硬いときはナイロン専用溶液を混ぜて下さい。

●一般油性インク（油性）

用途：紙・白木・金属塗面・ガラス・アクリル・エンビ・ABS
対応スクリーン：120M・230M
プリント面の完全乾燥には約24時間かかります。
※インクが硬いときはふきとり&うすめ液を混ぜて下さい。

●各インクの使い方（つづき）

●マルチチョイスインク（油性）

用途：綿・綿混紡
対応スクリーン：60M・80M・120M
布専用の油性インクです。油性インクですので、水性一般インクより目つまりはしにくいインクです。
完全乾燥には必ず熱処理（別売りのシリコンシートをあて、中温ドライアイロンをかける）を行ってください。自然乾燥では、乾きません。多色刷りには、水性一般インクをお勧めします。
※インクが硬いときはマルチチョイスインク用専用希釈剤を混ぜて下さい。
（ふきとり&うすめ液は混ぜないで下さい。）

（インクとスクリーン選びのポイント）

●付属のインクは水性一般インクで、綿及び綿混紡（綿割合50%以上）に適しています。ナイロン生地には、別売りのTシャツくん専用ナイロンウェア用インクをご使用ください。

●濃色生地に発色よく印刷したいときは、Tシャツくん専用白インクを下地として文字、絵柄等を印刷してから、専用一般インク（赤、青、黄、緑、など）で印刷してください。

●同種Tシャツくん専用のインクは自由に混色ができますので、好みの色が作れます。

●多枚数単色印刷するのに、目づまりしないインクとしてマルチチョイスインク（布専用・油性）があります。ただしこのインクは熱乾燥(160℃以上)が必要です。

●Tシャツくん専用スクリーンは別売りで、60メッシュ・80メッシュと230メッシュがあります。
発泡インク、金銀インクは60メッシュ80メッシュが適しています。230メッシュは一般油性インク、ナイロンウェア用油性インク専用です。（水性インクは使えません。）

（目づまりを防ぐ方法）

●水性インク詰まりが起こり始めたら、水を含ませたティッシュでスクリーン版の裏面よりインクを拭き取り、完全に乾燥させたあと再び印刷を行ってください。

●オプション品の使い方

※製品ごとの取扱説明書、注意事項をよく読んでからお使い下さい。

●修正液（一般用/ナイロンインク用）

スクリーンのキズ（不要に空いてしまったピンホールなど）を埋めるとき使います。
スクリーンの裏側（インクのつかない面）より、修正個所に均一に塗り、完全に乾燥させてから、プリントします。
※ナイロンインク使用の場合、ナイロンインク専用修正液をお使い下さい。

●目づまり除去液

スクリーン上に目づまりした水性インクを取り除くとき使います。
目づまり部分にスプレーして、インクを溶かします。除去液を拭き取り、完全に乾燥させてから、プリントします。多数回使用すると、スクリーンが傷みますのでご注意下さい。
※ポリウレタンインクには使えません。

●スクリーン補強剤

多枚数のプリントの場合、スクリーンの強度をあらかじめ高めたいときに使います。
製版後、プリントする前に、スクリーンの裏側（インクのつかない面）に全面スプレーします。スプレー後すぐに、スクリーンの表側（絵柄部分）の補強剤を拭き取り、完全に乾燥させてから、プリントします。

●ふきとり&うすめ液

一般油性インクの拭き取りとうすめ用に使います。
スキージ等にこびりついた水性インク及びマルチチョイスインクの拭きとり用、またプリントパネルにこびりついたスプレーのりの拭き取り用としても使えます。

●ナイロンインク用溶液

ナイロンインク専用の拭き取りとうすめ用に使います。
ナイロンインクが硬いときは粘度調整用としてインクに混ぜて下さい。

●ナイロンインク専用硬化剤

ナイロンインク使用時には必ずお使い下さい。（硬化剤なしではインクは固まりません。）
インク量の5～10%の硬化剤を混ぜてからプリントします。

⚠警告

・ナイロンインク専用硬化剤は自然硬化します。キャップを開けたままにしておくと固まってしまいますので、使用後必ずキョップを閉めてください。完全に固まってしまうと使用できなくなります。
・開封後の使用期限は冷蔵庫に入れて2ヶ月を目安にしてください。
・ナイロンインク専用硬化剤を使用するときは、注意事項をよく読み作業を行ってください。

●マルチチョイスインク専用希釈剤（薄め液）

マルチインクが硬いときは、粘度調整用としてインク量の1～5%を混ぜて下さい。

●シリコン紙

マルチインクをアイロンで乾燥（熱処理）させる時に使用します。

●マスキングテープ

1版での多色印刷、多色印刷時の位置合わせ時等に使います。
テープを数枚重ねることもできます。

●Tシャツくんインフォメーションサービス

わからないこと、失敗したとき現象を詳しくご連絡下さい。担当者が適切なアドバイスを致します。失敗したスクリーン・原稿をお手元に残しておかれると、より原因がわかりやすくなります。

1．版ができない。

2．プリントができない。

3．使い方が分からない。

お問い合わせは
TEL 0422(48)5119（東京）
TEL 075(921)9225（京都）

製造・発売元/**太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL 0422 (48) 5119(代)　FAX 0422 (48) 5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL 075 (921) 9225　FAX 075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com